

個別の医療機関に係る具体的対応方針の変更について

1 国の方向性: 個別の医療機関ごとの具体的対応方針について

「地域医療構想調整会議の進め方について」厚生労働省医政局通知（平成30年2月）

全ての医療機関については、地域医療構想調整会議において、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、遅くとも平成 30 年度末までに 2025 年に向けた対応方針を協議すること。協議が調わない場合は、繰り返し協議を行った上で、速やかに 2025 年に向けた対応方針を決定すること。また、対応方針を決定した後、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議すること。

2 曾於圏域におけるこれまでの経過について

2025 年に向けた具体的対応方針の合意状況

令和元年7月: 曾於医師会立病院

令和2年2月: 曾於医師会立有明病院, 昭南病院, 大山病院, 財部中央病院,
財部記念病院, 高原病院, 中島病院

令和3年7月: 曾於医師会立有明病院(変更)

令和3年11月: 曾於医師会立病院(変更)

合意済 計8病院

※未協議の有床診療所についても今後協議を進めていく予定

3 財部中央病院について

(1) 前回の合意内容

- ・2025 年の病床機能: 慢性期 96 床
- ・2025(令和7)年に担う医療の役割: その他

(2) 今回変更する内容

- ・慢性期 96 床のうち 77 床を削減し, 病院から慢性期 19 床の有床診療所へ再編
- ・その後, 2025(令和7)年度中に無床診療所へ移行
- ・2025(令和7)年に担う医療の役割: 脳卒中, 糖尿病, 在宅医療

※病床変更(削減)の理由等, 詳細は2ページ参照

2025年に向けた具体的対応方針（2025年に向けた計画）について

財部中央病院

1 令和7年（2025年）に担う病床の医療機能

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		合計
					休棟予定	廃止予定	
当初の方針 (令和元年度に合意)				96			96



慢性期 77 床を削減

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		合計
					休棟予定	廃止予定	
変更した方針 2025年(R7年)				19			19

※2025(令和7)年度中に無床診療所に移行予定

2 令和7年（2025年）に担う医療機関の役割

	①がん	②脳卒中	③心血管疾患	④糖尿病	⑤精神疾患	⑥救急	⑦災害	⑧へき地	⑨周産期	⑩小児	⑪在宅	⑫その他
当初の方針 (令和元年度に合意)												○



(※今後のスケジュール等について「介護医療院への転換，クリニックへの移行を検討中」としていた。

	①がん	②脳卒中	③心血管疾患	④糖尿病	⑤精神疾患	⑥救急	⑦災害	⑧へき地	⑨周産期	⑩小児	⑪在宅	⑫その他
変更した方針 2025年(R7年)		○		○							○	

3 今後のスケジュール

	取組内容
2022年度	病院を廃止し，有床診療所へ手続き
2023年度	有床診療所
2024年度	有床診療所
2025年度	年度内に無床診療所へ

4 病床変更（削減）の理由

- ・高度急性期機能，急性期機能を持った医療機関との連携を推進できる。
- ・訪問看護等を行い，在宅医療提供体制を充実できる。
- ・医療と介護の円滑な連携に取り組む。
- ・プライマリケアの提供や地域包括ケアシステムの構築に当たって中心的な役割を担う「かかりつけ医」機能を持つ。
- ・有床診療所にすると必要医師数が減るため，地域の他の医療機関での医師確保に貢献できると思われる。

5 診療実績

	病床稼働率 (全体)	平均在棟日数 (全体)
R2年度	51.4%	309.5日
R3年度	47.1%	301.3日

個別の医療機関ごとの2025年に向けた具体的対応方針（「2025年に向けた計画」）のとりまとめ結果について

※ 網掛けは2025年に医療機能等の変更予定がある医療機関
 ※ その他、直近の情報は備考に記載

【曾於保健医療圏】

区分	病診区分	所在地	医療機関名	許可病床数				医療機能ごとの病床数										2025年に担う役割の方針										備考 (基本方針またはその他の役割)						
				一般・療養計	一般	療養	その他計	2021(令和3)年7月現在					2025(令和7)年の計画					2025年		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急医療	災害医療	へき地医療		周産期医療	小児医療	在宅医療	その他(プライマリケア)		
								計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟														介護保険施設等	
公的	病院	曾於市	曾於医師会立病院	196	196	0	2	196		162				34	137		137																	※ 令和3年第2回地域医療構想調整会議（R3.11.29）において合意
	病院	曾於市	昭南病院	154	103	51	0	154		33	70 (10床休棟)	51		154		33	70	51															※ 令和元年度第3回地域医療構想調整会議（R2.2.21）において合意	
	病院	志布志市	大山病院	100	40	60	0	100				100		100																			※ 令和元年度第3回地域医療構想調整会議（R2.2.21）において合意	
	病院	曾於市	財部中央病院	96	0	96	0	96				49	47	(19)				(19)															【今回協議】19床の有床診療所へ移行し、2025年度に無床診療所へ移行予定	
	病院	曾於市	財部記念病院	43	0	43	0	43				43		43				43															※ 令和元年度第3回地域医療構想調整会議（R2.2.21）において合意	
	病院	曾於市	高原病院	65	19	46	0	65		19	16	30		65		19	16	30															※ 令和元年度第3回地域医療構想調整会議（R2.2.21）において合意	
	病院	曾於市	中島病院	51	0	51	0	51				51		51				51															※ 令和元年度第3回地域医療構想調整会議（R2.2.21）において合意	
	有床診療所	曾於市	塩川医院	19	8	11	0	19			8	11		19			19																一般病床8床、療養病床11床で運営。療養型は特に在院日数が長くなる傾向にあるが、あくまでも家に返すことを目標としている。	
	有床診療所	志布志市	志布志中央クリニック	19	19	0	0	19			19			19			19																地域のニーズに応えるために在宅介護リハビリ支援とプライマリケアの強化を図る。	
	有床診療所	志布志市	藤後クリニック	19	19	0	0	19		19				19		19																		
	有床診療所	志布志市	びろうの樹整形外科	19	19	0	0	19						57																				2025年2月1日病院開業予定 びろうの樹脳神経外科と整形外科の一体化を図り、病院として移転新築をし、急性期と回復期を担える医療機関として地域に貢献する。
	有床診療所	志布志市	びろうの樹脳神経外科	19	19	0	0	19		19				19																				
	有床診療所	志布志市	山口内科	14	4	10	0	14			4	10		14			4	10																腎臓病
	有床診療所	大崎町	はるびゅうクリニック	19	4	15	0	19					19	0																				休床中で廃止の予定はなし。
	有床診療所	大崎町	牧瀬内科クリニック	19	19	0	0	19					19	0																				慢性内科疾患管理主体（外来のみ）
	有床診療所	曾於市	医療法人EMS松岡救急クリニック分院	4	4	0	0	4		4				4		4																		
①病院 + 有床診療所				856	473	383	2	856	0	275	47	345	119	682	0	212	128	285	38	20	※「病院・有床診療所合計（2025年計画）」は、休棟の病床数は含んでいない。													
②地域医療構想で、2025年に必要とされる病床の量								664	17	125	249	273	—	664	17	125	249	273	—	—														
③地域医療構想で、2025年に必要とされる病床の量との差（①-②）								192	△17	150	△202	72	—	18	△17	87	△121	12	—	—														
								計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	介護保険施設等														
								2021(令和3)年7月現在					2025(令和7)年の計画					2025年																

